

各 位

東 京 都 千 代 田 区 麴 町 三 丁 目 2 番 4 号  
 会 社 名 株 式 会 社 ス リ ー ・ デ ィ ー ・ マ ト リ ッ ク ス  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 高 村 健 太 郎  
 (コード番号：7777)  
 問 合 せ 先 取 締 役 新 井 友 行  
 電 話 番 号 03 (3511)3440

**平成 27 年 4 月 期 業 績 予 想 の 修 正 及 び 役 員 報 酬 の 減 額 に 関 す る お 知 ら せ**

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 6 月 12 日付で公表いたしました平成 27 年 4 月 期（平成 26 年 5 月 1 日～平成 27 年 4 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正し、併せて役員報酬の減額を実施することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 平成 27 年 4 月 期 通 期 の 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平成 26 年 5 月 1 日～平成 27 年 4 月 30 日)

【連結】

(単位：百万円、%)

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	10,418	4,483	4,466	3,564	円 銭 168.04
今回修正予想 (B)	51	△1,984	△1,884	△2,080	△99.52
増減額 (B-A)	△10,367	△6,467	△6,350	△5,644	—
増減率 (%)	△99.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 4 月 期)	107	△1,518	△1,523	△1,525	△77.77

【個別】

(単位：百万円、%)

	事業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	5,146	2,142	1,980	円 銭 99.62
今回修正予想 (B)	129	△1,068	△1,260	△60.31
増減額 (B-A)	△5,016	△3,211	△3,240	—
増減率 (%)	△97.5	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 4 月 期)	56	△1,067	△1,068	△54.45

(注) 当社は、平成 26 年 7 月 9 日を払込期日とする海外募集による新株発行の 1,270,000 株を含めた期中平均発行済株式総数により算出しております。このため、前期実績の 1 株当たり当期純利益は当該増資の影響を考慮して記載しております。

ご注意： この文書に記載した当社の業績予想に関しては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

## 2. 業績予想修正の理由

当社グループの平成27年4月期の業績予想の修正を行う理由は以下の3つの主要因があり、詳細は以下のとおりです。

### ①吸収性局所止血材の国内における開発計画の変更に伴う修正

当期中の業績予想において国内での吸収性局所止血材（以下「本止血材」）の製造販売承認を見込んでおり、承認取得等に伴うマイルストーンペイメント収入および承認後の製品販売収入を計画しておりました。

しかしながら、当社は平成23年5月31日付で医薬品医療機器総合機構（以下「PMDA」）に製造販売承認申請を行い、審査に関する対応を進めてまいりましたが、PMDAと有効性評価の科学的妥当性について協議を行う中で、当社が本止血材の国内製造販売承認を取得するためには、その止血材の有効性についてより精度の高い検証が必要との結論に至り、平成27年3月13日付で承認申請を一旦取下げ、新たに臨床試験を実施し再度製造販売承認申請を行うことといたしました。

この度の開発計画の変更の決定において当期中での製造販売承認に起因する収益の計上が見込めなくなったことから、事業収益の計画を修正することとなりました。国内における新しい臨床試験については来期中での開始を計画しております。なお、臨床試験終了後、速やかに再度の製造販売承認申請を目指しておりますが、具体的な時期については未定であります。

### ②吸収性局所止血材の海外における販売権許諾契約の締結遅延に伴う修正

当期中の業績予想において主に欧米での吸収性局所止血材（以下「本止血材」）の販売パートナー候補との販売権許諾に伴う契約一時金の収入および製品販売収入を計画しておりました。

当社グループとして現在もパートナーシップに向けて複数社と交渉中ではありますが、契約に向けたデュエリジェンスを経て条件交渉等の段階より契約の締結までに時間を要している案件や条件面でより交渉が必要な案件等もあり、当第3四半期から当第4四半期にかけ当期中での収益計上に対して当該進捗を精査しておりましたが、この度、当期末までの契約締結には至らない状況であると判断いたしました。

当該交渉の進捗により、当期中での契約一時金の収入および製品販売収入の計上が見込めなくなったことから、事業収益の計画を修正することとなりました。

### ③事業収益状況の変化に対応する費用・利益計上額の修正

当期中の費用面において、前述の収益状況の変化に伴い、売上原価の発生が減少する見込みであります。また、主に販売費及び一般管理費において費用面の見直しや圧縮等にも取り組んでおり、事業費用の計画を修正することとなりました。当期の事業収益予想10,418百万円から51百万円に業績予想を下方修正する見込みとなり各利益額が減少することから、営業利益を含めた各利益予想を下方修正する見込みとなりました。

## 3. 今後の取り組みについて

### ①本止血材の収益化

当社グループは、来期において欧州を中心として、販売パートナー候補との契約締結に向け全力を挙げて取り組んでまいります。また欧州における本止血材の販売に関しては、当第4四半期より有力医療機関に対しての直販も開始しており、その他、アジア・オセアニア・南米等の地域において本止血材の製品販売体制の構築を進め、早期の収益化に向けて取り組んでまいります。

### ②本止血材の国内承認の取得

当社は本止血材に関して国内での製造販売承認の取得に向けて強い信念を持っております。また現在ま

ご注意： この文書に記載した当社の業績予想に関しては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

での知見を活かし国内における臨床試験の速やかな実施・製造販売承認の取得まで体制を強化してまいります。臨床試験終了後、速やかに再度の製造販売承認申請を目指しておりますが、具体的な時期については未定であります。

#### 4. 役員報酬の減額について

この度の業績予想の修正という結果を真摯に受け止め、経営責任を明確にするために以下のとおり取締役報酬の減額を実施いたします。また、監査役から監査役報酬を一部返上する申し入れがありましたので、併せてお知らせいたします。

##### ①役員報酬減額および監査役報酬一部返上の内容

代表取締役	役員報酬月額の50%を減額
取締役	役員報酬月額の20%を減額
監査役	役員報酬月額の10%を返上

##### ②対象期間

平成27年3月より平成27年8月までの6ヶ月間

#### 【ご参考】中期経営計画の修正（連結）

なお、今回の業績修正要因を踏まえて、当期に見込んでいたマイルストーンペイメント収入及び製品販売収入の計上時期について見直しを行い中期経営計画についても修正しております。本修正分を反映した中期経営計画値は以下のとおりとなります。詳細は本リリースと同日付で公表する「中期経営計画の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

(単位：百万円)

	事業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成27年4月期（予想）	51	△1,984	△1,884	△2,080
平成28年4月期（目標）	3,694	731	714	171
平成29年4月期（目標）	11,345	4,377	4,361	3,000

(注) 上記は平成27年3月13日に公表の中期経営計画より計画値を抜粋し記載しております。

以 上

ご注意： この文書に記載した当社の業績予想に関しては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。